

北國あすなろ賞 推薦書(記入例)

	奉仕活動	福祉活動	人命救助
分野	伝統文化の継承	リーダー活動	
	その他()		

*いずれかを○でお囲み下さい。

●候補者について(下記いずれかに必要事項をご記入下さい)

個人	ふりがな	ほっこく はなこ		
	氏名	北國 花子		
	学校名	石川県立石川高校	学年	3 年
	生年月日	平成 12 年 11 月 1 日 (17 歳)		
	自宅住所	〒920-8588 金沢市南町2-1		
	電話番号	(076) 123 - 4567		
団体	ふりがな			
	団体名			
	ふりがな			
	代表者名	*リーダーや会長を務める児童生徒の名前をご記入下さい。		
	団体所在地	〒		
	電話番号	() -		

推薦者	ふりがな	やまだ たろう		
	氏名	山田 太郎		
	自宅住所	〒920-0961 金沢市香林坊1-2-24		
	自宅電話番号	(076) 765 - 4321		
	携帯電話	() -		
	職業	会社員	勤務先	北國新聞社

推 薦 理 由

活動期間	9年間
活動頻度	毎月1回の全体会議に出席。その他、地元子ども会の打ち合わせなど、必要に応じて活動している。
対象人数	

*団体の場合のみご記入下さい。

具体的な活動内容やエピソードなど

小学校3年生から、地元少年連盟の行事に積極的に参加するようになり、少連主催のさまざまな行事(夏祭り、文化祭など)の企画、運営に携わってきた。地域挙げて取り組む地域清掃や、保育園での保育ボランティアは高校3年生となった今も、時間をみつけて続けている。

中学入学後は、金沢市子ども会連合会少年委員、高校生になってからは、同連合会のリーダーとなり、生まれ育った地元コミュニティーから、金沢市全体に活動のフィールドを広げた。金沢百万石まつりの子ども提灯行列では、会場の混雑を避けるために何千人もの参加者を誘導し、伝統行事を成功に導いた。

年齢が上がるにつれて責任感も増し、中学・高校時代は勉強や部活と両立しながら、率先して活動する姿は、後輩の模範にもなっている。高校卒業に伴い、子ども会の活動からも「卒業」となるが、本人は今後も地域活動に携わっていく意向を示しており、長年の取り組みは表彰に値すると考える。